

様式第十八の四（第11条の3第3項関係）

認定事業適応計画の概要の公表

1. 認定の日付

令和5年12月27日

2. 認定事業適応事業者の名称

株式会社牧野フライス製作所

3. 認定事業適応計画の内容

(1) 事業適応に係る事業の目標

同社は、さらなる企業価値向上を目指すための脱炭素化を促進させる取組として、自社工場において、より少ないエネルギーで工作機械を製造できるよう、エネルギー消費量の削減と生産工程の見直しによる改善を模索している。また、お客様の生産活動のためにより効率的に工作機械をお使いいただけるよう、省エネルギーにつながる加工技術の開発に取り組んでいる。

本事業では、太陽光発電設備の導入や高効率空調、LED照明への更新などの取組を実施することで、当社としての企業価値の向上とCO2排出削減の両立を図ることを目指すものである。

(2) その事業の生産性を相当程度向上させること又はその生産し、若しくは販売する商品若しくは提供する役務に係る新たな需要を相当程度開拓することを示す目標

2022年度より事業適応を開始し、2023年度(目標年度)までに、会社全体の炭素生産性を10.75%向上させることを目標とする。

(3) 財務内容の健全性の向上を示す目標

2023年度(計画終了年度)に、経常利益を計上することを目標とする。

(4) 事業適応の類型

エネルギー利用環境負荷低減事業適応

(5) 計画の対象となる事業（日本標準産業分類における中分類名称及びその分類コード）

生産用機械器具製造業（26）

（選定の理由）

工作機械の製造販売を主業としているため。

(6) 事業適応の具体的内容

計画初年度の2023年3月に、厚木事業所、富士吉田工場、福岡営業所への自家消費太陽光発電設備を導入し、CO2排出量を大幅に削減する見込み。また、厚木事業所、富士勝山事業所、鳴沢工場で、LED照明への更新を予定。省エネによるCO2排出量削減に取り組む。

計画2年度目(目標年度)は、厚木事業所の空調を高効率タイプのものへ更新するとともに、富士勝山事業所でLED照明への更新を継続、さらに名古屋支店への自家消費太陽光発電設備の導入、J-クレジットの購入によりCO2排出量を大幅に削減することを計画。併せて、計画初年度に導入した設備を通年稼働させ、CO2排出量を一層削減し、事業者全体の炭素生産性を、10.75%向上させる。

(7) 事業適応の開始時期及び終了時期

開始時期 2023年3月

終了時期 2024年3月